

米国イノベーション・ファンド (年4回決算型)

(愛称) アメリカン・アイドル (年4回)

追加型投信／海外／株式

第13期 2019年4月22日決算 第14期 2019年7月22日決算
作成対象期間 (2019年1月22日～2019年7月22日)

第14期末 (2019年7月22日)	
基準価額	10,483円
純資産総額	3,062百万円
第13期～第14期	
騰落率	+15.5%
分配金合計	100円

*騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

◆運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

◆当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)については、以下の手順で閲覧およびダウンロードすることができます。

<閲覧方法>

<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→
ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 運用報告書についてのお問い合わせ
フリーダイヤル 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「米国イノベーション・ファンド(年4回決算型)(愛称：アメリカン・アイドル(年4回))」は、このたび、第13期および第14期の決算を行いました。

当ファンドは、米国イノベーション・マザーファンドへの投資を通じて、主として米国の中小型株に投資することにより、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

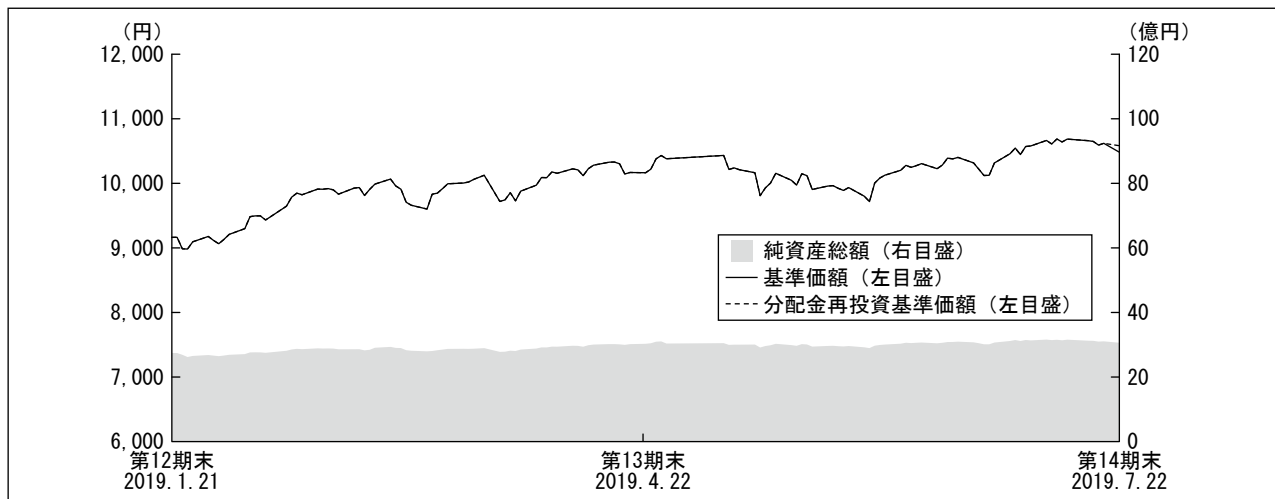


三井住友DSアセットマネジメント

(旧：大和住銀投信投資顧問)
〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1
<https://www.smd-am.co.jp>

運用経過

【基準価額等の推移】



*当ファンドにはベンチマークはありません。

*分配金再投資基準価額は、作成期首の基準価額を基準に算出しております。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第13期首：9,163円

第14期末：10,483円（作成対象期間における期中分配金合計額 100円）

騰落率：+15.5%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、米国イノベーション・マザーファンドへの投資を通じて、主として米国の中小型株に投資を行いました。

（上昇要因）

当作成期は、ATMおよび国際送金事業が順調なユーロネット・ワールドワイド、受講者数の増加により複数の大学で収入が拡大しているストラテジック・エデュケーション、競合のインフィニオン・テクノロジーズによる買収が発表されたサイプレス・セミコンダクタ等が上昇したことが上昇要因となりました。また、化学大手メルクに買収されたバースム・マテリアルズ、個人向け融資サービスを展開するバリュー・ホールディングスの買収を完了したレンディングツリー等が上昇したことも、上昇要因となりました。

（下落要因）

当作成期は、営業人員の採用が想定通りに進まず弱気な業績見通しを発表したニュータニクス、米政府による華為技術（ファーウェイ）への禁輸措置を受け5G（第5世代移動通信システム）事業計画の遅延が不安視されたボイנג・ワイヤレス、保守的な業績見通しを示したグリーン・ドット等が下落したことが下落要因となりました。また、欧州およびアジア事業が軟調で失望決算となったケナメタル、経営陣の賞与が利益よりも売上拡大に大きく連動し株主利益の向上につながり難い報酬体系となっている点が批判されたテラドック・ヘルス等が下落したことも、下落要因となりました。

【1万口当りの費用明細】

項目	第13期～第14期		項目の概要
	2019年1月22日～2019年7月22日		
	金額	比率	
信託報酬	110円	1.104%	信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 作成期中の平均基準価額は9,925円です。
（投信会社）	（67）	（0.673）	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	（40）	（0.404）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（3）	（0.027）	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	5	0.055	売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数
（株式）	（5）	（0.055）	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	0	0.001	有価証券取引税＝作成期中の有価証券取引税÷作成期中の平均受益権口数
（株式）	（0）	（0.001）	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	5	0.051	その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	（4）	（0.044）	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	（1）	（0.007）	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	（0）	（0.000）	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	120	1.210	

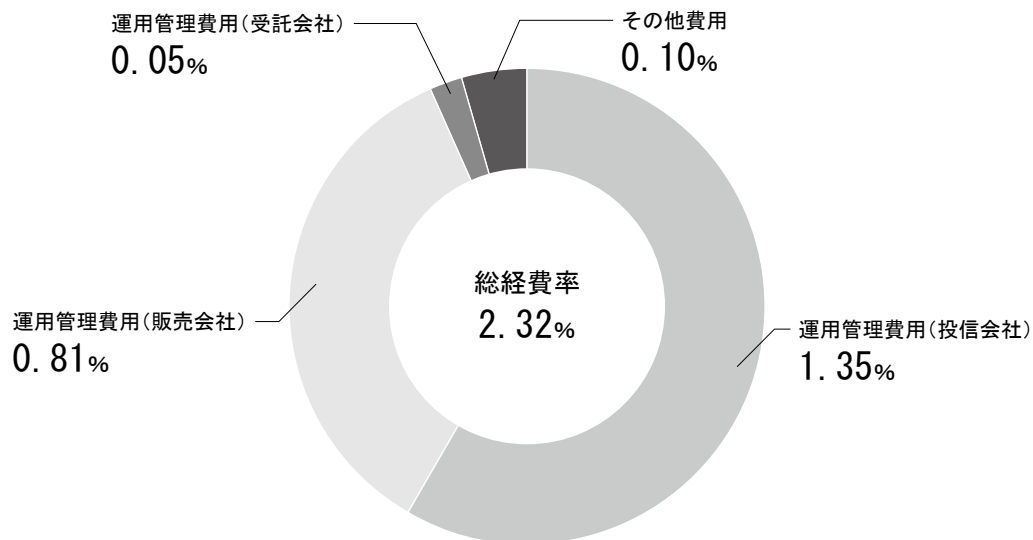
* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

* 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

参考情報 総経費率（年率換算）



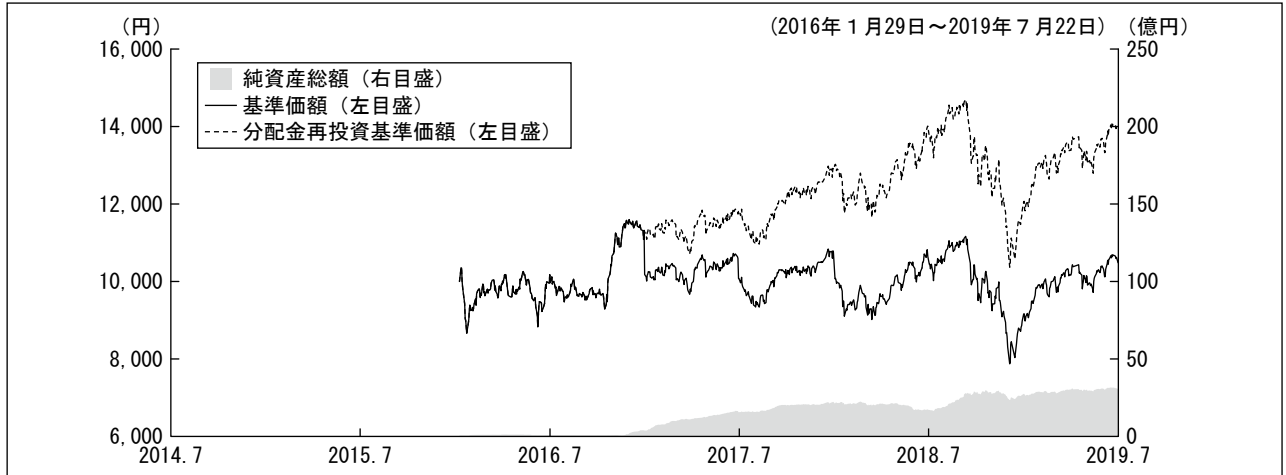
*各費用は、前掲「1万口当りの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

*各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。

*上記の前提条件で算出しているため、「1万口当りの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は2.32%です。

【最近5年間の基準価額等の推移】



*当ファンドの設定日（2016年1月29日）より表示しております。

*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を表示しております。

*当ファンドにはベンチマークはありません。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2016年1月29日 設定日	2016年7月20日 決算日	2017年7月20日 決算日	2018年7月20日 決算日	2019年7月22日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,956	10,075	10,642	10,483
期間分配金合計（税込み） (円)	—	0	1,700	1,200	100
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 0.4	18.8	18.5	△ 0.6
Russell 2500 グロス・インデックス （配当込み、円換算）騰落率 (%)	—	4.2	26.6	25.0	△ 2.2
純資産総額 (百万円)	60	82	1,554	1,723	3,062

*Russell 2500 グロス・インデックス（配当込み、円換算）は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

●参考指数に関して

*Russell 2500 グロス・インデックス（配当込み、円換算）とは、Russell 2500 グロス・インデックス（配当込み、米ドルベース）を委託者が円換算したものです。

*ラッセル・インデックスに関連するトレードマーク、サービスマークおよび著作権は、ラッセル・インベストメントに帰属します。インデックスは運用管理の対象とはなりません。また、インデックスは直接的に投資の対象となるものではありません。

*海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

【投資環境】

当作成期の米国株式市場は、上昇しました。作成期初から4月にかけては、金融緩和や米中貿易摩擦の改善に対する期待に支えられ上昇基調で推移しました。5月に入ると、トランプ米大統領が中国からの輸入製品に対する関税率を現行の10%から25%に引き上げると表明、さらに、中国通信機器大手である華為技術と米国企業の取引を禁じたことから米中貿易摩擦への懸念が再燃し、米国株式市場は急落しました。しかし、6月にはパウエルFRB（米連邦準備制度理事会）議長の「景気拡大を持続させるために適切な行動をとる」といった発言を受けて利下げ期待が強まり大幅に反発、その後も米中首脳会談の開催が決定されたことが好感され、作成期末にかけて続伸しました。

【ポートフォリオ】

■米国イノベーション・ファンド（年4回決算型）

主要投資対象である米国イノベーション・マザーファンドを作成期を通じて高位に組み入れ、作成期末の実質的な株式組入比率は93.3%としました。

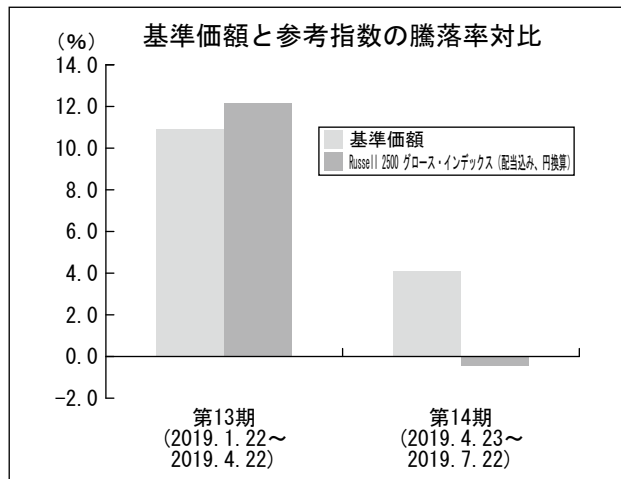
■米国イノベーション・マザーファンド

当作成期の騰落率は、+16.6%となりました。

当作成期は、5Gや電気自動車の普及に伴い製品需要の伸びが期待できるロジャーズ、シリコンカーバイドや窒化ガリウムの需要伸長が見込めるクリー、金融機関から継続的に契約料収入を獲得し景気変動の影響を受けずに業績を伸ばせる余地が大きいACIワールドワイド等を新規に組み入れました。一方、大口顧客との契約が更新されないリスクが浮上したグリーン・ドット、医療機関からの需要が減速していると見られるグローバス・メディカル、競合企業の買収により財務状況の悪化が懸念されるエルドラド・リゾーツ等を売却しました。

【ベンチマークとの差異】

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



* 基準価額の騰落率は、分配金込みで計算しております。

【分配金】

分配金は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第13期は見送り、第14期100円とさせて頂きました。（1万口当たり税込み）

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■分配原資の内訳

（1万口当たり・税引前）

項目	第13期	第14期
	2019年1月22日 ~2019年4月22日	2019年4月23日 ~2019年7月22日
当期分配金 (円)	0	100
(対基準価額比率) (%)	0.00	0.94
当期の収益 (円)	—	71
当期の収益以外 (円)	—	28
翌期繰越分配対象額 (円)	602	574

※円未満を切り捨てしているため、「当期分配金」は「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計額と一致しない場合があります。

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■米国イノベーション・ファンド（年4回決算型）

引き続き、運用の基本方針に従い、マザーファンドへの投資を通じて、主として米国の中小型株に投資することにより、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

■米国イノベーション・マザーファンド

中小型成長株はマクロ要因で株価が変動する状況が頻発していますが、企業業績は堅調に拡大しており、バリュエーション（投資価値評価）も割安なことから上値余地は大きいでしょう。また、潤沢な手元資金を持つ企業によるM&Aや自社株買い等も株価を下支えすると考えています。当ファンドでは、個別企業のファンダメンタルズ（基礎的条件）と無関係な理由で株価が動く相場局面は、有望銘柄へ割安に投資できる絶好の機会と捉えています。特に、半導体関連株は5Gや自動運転等向けに着実に需要が増加すると見て、注目しています。

お知らせ

大和住銀投信投資顧問株式会社は、2019年4月1日に三井住友アセットマネジメント株式会社と合併し、三井住友DSアセットマネジメント株式会社となりました。

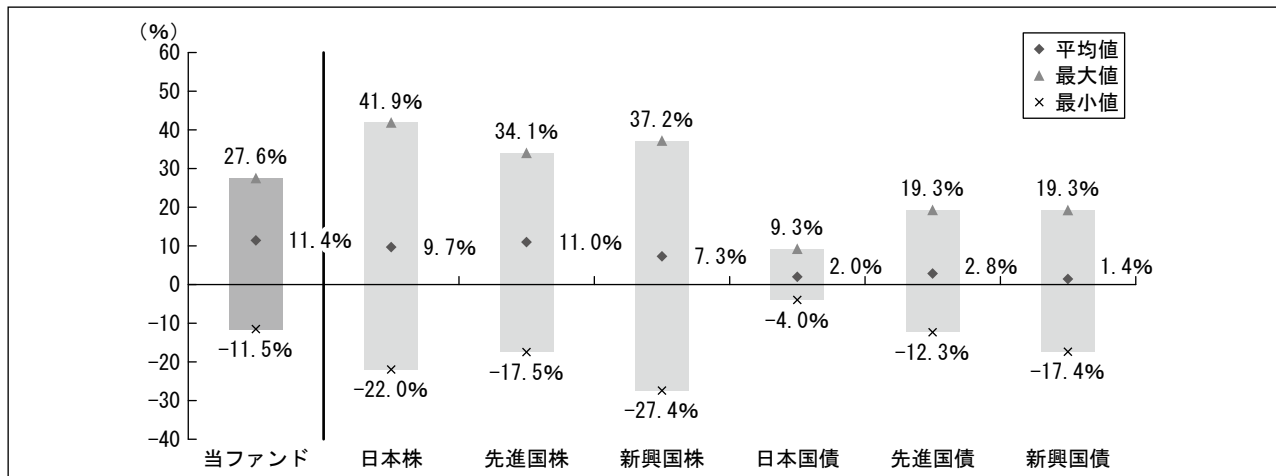
委託会社の合併に伴い、ファンドの委託者の商号ならびに公告の方法を変更することに伴う所要の約款変更を行いました。（2019年4月1日付）

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2016年1月29日～2026年1月20日（約10年）	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主として米国の中小型株に投資することにより、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	米国イノベーション・マザーファンド受益証券
	米国イノベーション・マザーファンド	米国の金融商品取引所に上場する中小型株
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・運用はファミリーファンド方式で行います。 ・ボトムアップアプローチによる企業調査や業界分析などから、革新的な技術やビジネスモデルを有し、高い成長が期待できる銘柄を厳選して投資します。 ・原則として、為替ヘッジを行いません。 	
分配方針	<p>毎年1月、4月、7月、10月の20日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。</p> <p>*分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。</p>	

【当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較】

当ファンド：2017年1月～2019年6月
代表的な資産クラス：2014年7月～2019年6月



●上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

*当ファンドと代表的な資産クラスのデータの期間が異なりますので、ご注意ください。

*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

*騰落率は直前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

<各資産クラスの指数について>

資産クラス	指数名	権利者
日本株	TOPIX（配当込み）	株式会社東京証券取引所
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）	MSCI Inc.
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）	MSCI Inc.
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村証券株式会社
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）	FTSE Fixed Income LLC
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）	J.P.Morgan Securities LLC

（注）上記指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、各権利者に帰属します。各権利者は、当ファンドの運用に関して一切の責任を負いません。

当該投資信託のデータ

《当該投資信託の組入資産の内容》

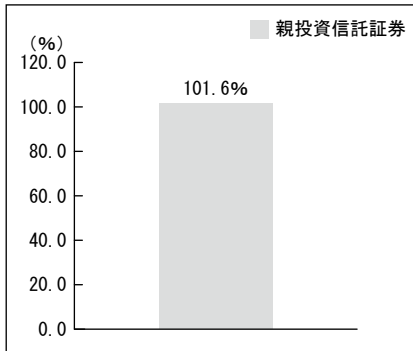
【組入ファンド】

	第14期末（2019年7月22日）
	組入比率
米国イノベーション・マザーファンド	101.6%

*組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

【資産別配分】

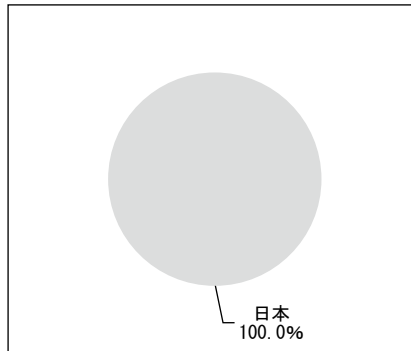
(2019年7月22日現在)



*純資産総額に対する評価額の割合

【国別配分】

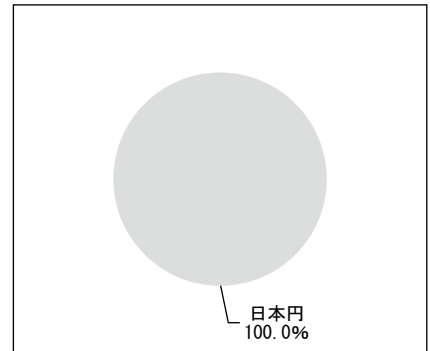
(2019年7月22日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【通貨別配分】

(2019年7月22日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【純資産等】

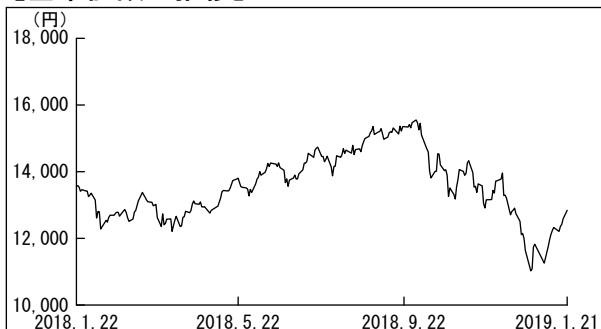
項目	第13期末	第14期末
	2019年4月22日	2019年7月22日
純資産総額	3,029,089,217円	3,062,182,929円
受益権総口数	2,980,141,944口	2,921,027,222口
1万口当り基準価額	10,164円	10,483円

*当作成期間中における追加設定元本額は403,536,534円、同解約元本額は477,613,668円です。

《組入ファンドの概要》

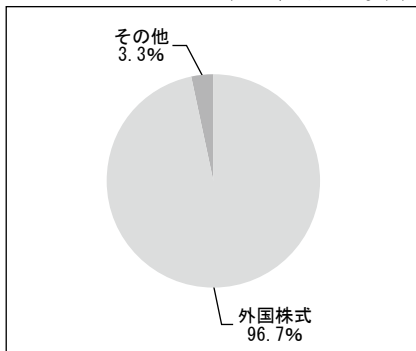
■米国イノベーション・マザーファンド

【基準価額の推移】



【資産別配分】

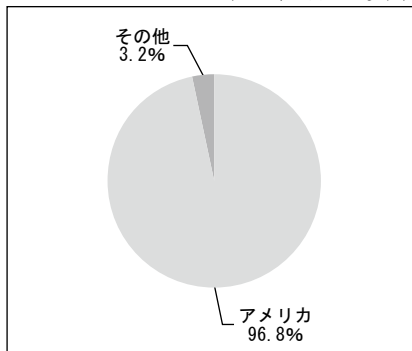
(2019年1月21日現在)



*純資産総額に対する評価額の割合

【国別配分】

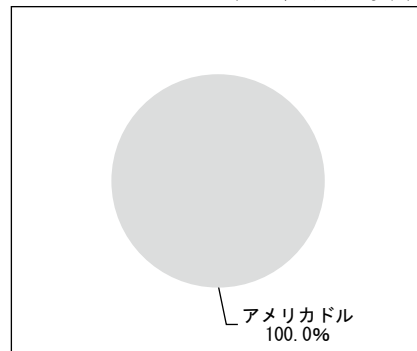
(2019年1月21日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【通貨別配分】

(2019年1月21日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【組入上位銘柄】

(2019年1月21日現在)

順位	銘柄名	国名	業種名	比率
1	EURONET WORLDWIDE INC	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.9%
2	RINGCENTRAL INC-CLASS A	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.8%
3	BLACK KNIGHT INC	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.5%
4	ULTIMATE SOFTWARE GROUP INC	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.5%
5	LIGAND PHARMACEUTICALS	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.3%
6	IAC/INTERACTIVECORP	アメリカ	メディア・娯楽	2.2%
7	COOPER COS INC/THE	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	2.2%
8	NEUROCRINE BIOSCIENCES INC	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.2%
9	SIMPLY GOOD FOODS CO/THE	アメリカ	食品・飲料・タバコ	2.2%
10	GREEN DOT CORP-CLASS A	アメリカ	各種金融	2.1%

(組入銘柄数 59銘柄)

*比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※ 全銘柄に関する詳細な情報および直近の計算期間の運用経過等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

※ 基準価額の推移、1万口当りの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

※ 資産別配分、国別配分、通貨別配分、組入上位銘柄は組入ファンドの直近の計算期間末日のものです。